

平成 31 年度 環境活動スタート事業

1 実施校

郡山市立行健中学校

2 実施日

令和元年 12月4日(水)

3 講演会の様子

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏を講師として実施しました。キリバスの歴史や現状を資料映像(VTR)や写真を取り入れながら分かりやすく説明し、地球温暖化が及ぼす影響についての講義を行いました。



4 講演を聞いての感想

・私たちは、普段何も考えずに教科書をひらいて授業を受けたり給食を食べたりすることは、他の国からすればとてもぜいたくなのだと改めて感じました。私たちだからこそできることがあるのではないかと思います。これからは一つ一つの物を大切に感謝して使いたいと思いました。

※次のページに進む

- キリバスは、二酸化炭素排出量が下から 2 番目なのに、地球温暖化の被害を一番あびていることや、地球温暖化の影響で島に住めなくなるかもしれないことを聞きました。今、自分にできることを行い、少しでも防げればいいと思いました。
- 一人一人が地球温暖化に対して、考えることが大切だとわかりました。小学 5 年生でキリバスと出会い、高校 1 年生のときにキリバスに行ったオノ先生は話に説得力がありました。自分も世界中の人々を救うためにできることをしようと思いました。
- すごく心を動かされた話がたくさんあり、オノ先生がキリバスをととても愛しているという思いがすごく伝わりました。一番心に残ったのは、世界中で汚したごみなどがキリバスの海にきた写真で、すごく心が痛くなりました。
- 地球温暖化によってふるさとを失い、動物、小さな子の命をうばってしまうことを知り、今すぐにこの問題を解決させていかなければならないと思いました。愛の反対は無関心という言葉が一番心に残っていて、キリバスの人々は日本国民に希望をもっている。だから「本当に必要か？」をしっかりと考えて、様々な命を守って一人も取り残されない世界を目指していきたいと思います。
- キリバスが大変な事になっていて、将来もしかしたら住めなくなってしまうとなると、キリバスの人が辛い思いをしてしまいます。キリバスだけではなく、地球全体がもっと多くの対策をして、地球の将来を守ってほしいなと思いました。これからの生活で、自分ではできることは実行したいと思います。今回の話を聞いてとても勉強になりました。
- 車で学校に送ってもらうときがありますが、それが地球温暖化の原因になっていることがわかりました。給食を残していませんが、残すことは命にも失礼ですし、地球温暖化の原因にもなるので残さず全部食べようと思います。
- 初めて地球温暖化によるひどい現実を知り、とても悲しい気持ちになりました。キリバスは美しい場所で、元気な子どもたちもたくさんいて、このような場所を救いたいと思いました。自分たちにできることもたくさんあるとわかったので、それらを頭の中に入れて生活していきたいと思います。環境について興味をもつことができました。
- 他の国で起きていることは、他人ごとではなく、自分が住んでいる国にも関係のあることだとわかりました。なので、少しでも地球温暖化を防ぐことができるように、マイバックを持ち歩くなどして生活をしていきたいと思います。
- 初めてキリバスについて知ることができました。特に心に残ったことは、地球温暖化が思っていた以上に進んでいるということです。石油やプラスチックの使いすぎ、食べ残しなどが原因だということを知りました。これから地球温暖化が進まないように自分たちができることをやりたいと思った。
- 地球温暖化について近い将来災害が多発するのかなと思っていましたが、キリバスという国ではもう災害が多発していて驚きました。地球温暖化は自然災害ではなく、人災だということも学びました。誰一人見捨てない世界を創っていきたいと強く思いました。